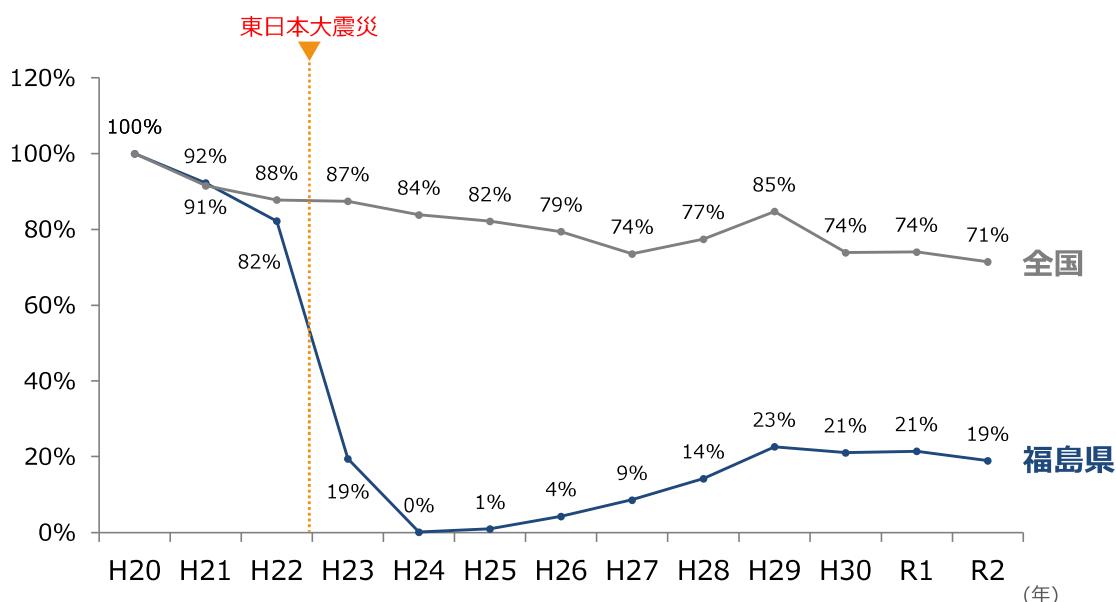


全国と福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

カレイ類の漁獲量は、全国的には平成29年以降は緩やかな減少傾向にある。福島県産カレイ類は、平成25年以降緩やかな回復傾向で推移していたが、平成30年以降ほぼ横ばいで推移している。

全国・福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



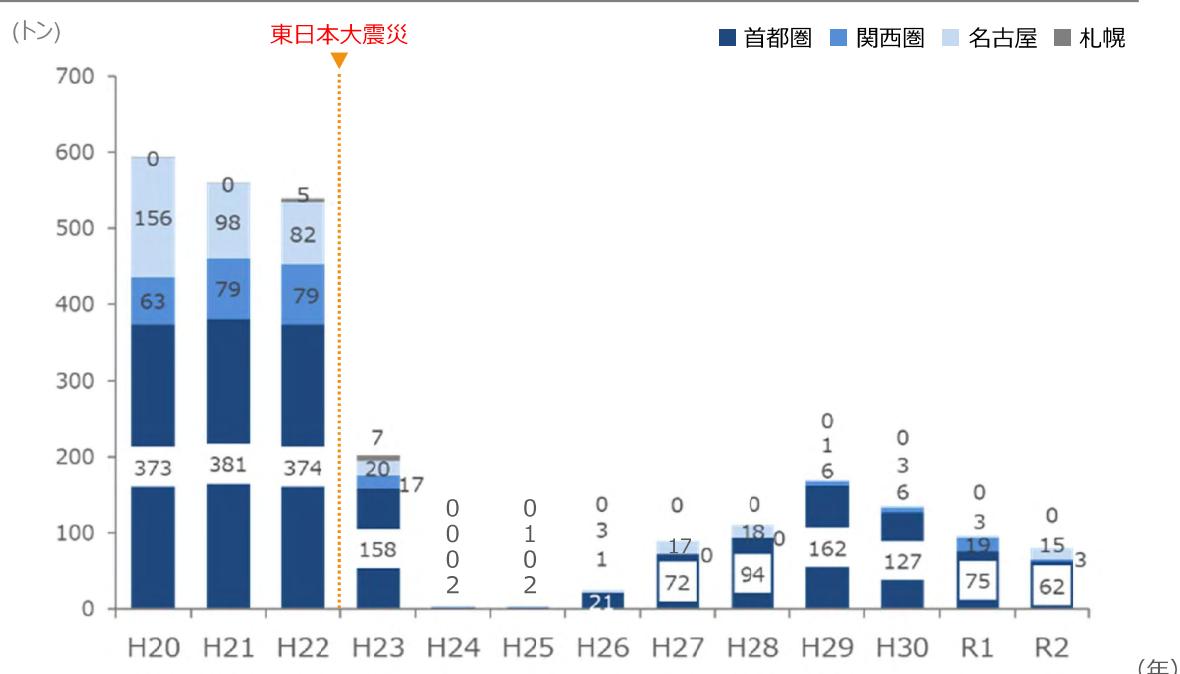
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

553

各市場における福島県産カレイ類の取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産カレイ類は、震災前は首都圏、関西圏及び名古屋を中心に取り扱われていたが、震災後は首都圏以外での取扱いがほとんどなくなっている。

各市場における福島県産カレイ類の取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。

554

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、福島県産カレイ類は、7月8月以外は年間を通して、少量ながら取り扱われていた。横浜市中央卸売市場においても、9月を除き年間を通して少量ながら流通が見られた。

各市場における産地リレー(令和2年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	2%	1%	1%	1%	1%	0%	0%	1%	2%	2%	1%	41
北海道	77%	51%	71%	81%	77%	76%	67%	69%	81%	77%	84%	88%	2,858
青森	5%	9%	7%	5%	5%	4%	6%	7%	4%	4%	3%	3%	192
宮城	4%	5%	7%	3%	5%	4%	8%	7%	4%	4%	3%	1%	170
千葉	3%	3%	3%	4%	4%	4%	9%	10%	2%	1%	2%	2%	143
東京	2%	2%	1%	4%	4%	4%	3%	2%	3%	4%	2%	2%	111
総量	299	280	484	496	441	410	233	174	182	170	240	379	

横浜市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

555

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場は、年間を通して、福島県産カレイ類の取扱いがほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産カレイ類の取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3
鳥取	23%	26%	39%	41%	41%	5%	1%	0%	19%	33%	8%	3%	152
福井	31%	30%	31%	29%	23%	0%	0%	0%	17%	10%	42%	32%	138
北海道	6%	3%	3%	3%	10%	76%	80%	87%	11%	9%	4%	5%	96
兵庫	18%	13%	12%	17%	13%	2%	0%	0%	28%	31%	16%	28%	90
島根	6%	18%	5%	3%	2%	0%	0%	0%	9%	9%	14%	11%	39
総量	53	67	85	78	73	32	24	29	31	49	38	28	

京都市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

556

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場は、1月から6月にかけて、少量ながら福島県産カレイ類の取扱いが見られた。札幌市中央卸売市場においては、年間を通して、福島県産の取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	5%	2%	2%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	15
北海道	59%	30%	46%	56%	42%	44%	42%	45%	50%	51%	54%	75%	670
愛知	4%	3%	13%	6%	20%	28%	33%	25%	3%	6%	3%	3%	167
宮城	11%	7%	6%	11%	12%	15%	12%	9%	7%	7%	7%	8%	128
東京	0%	0%	0%	1%	0%	1%	0%	11%	25%	27%	26%	1%	85
石川	6%	16%	12%	7%	11%	1%	1%	0%	3%	0%	2%	2%	81
総量	103	115	177	153	153	119	86	80	76	94	111	98	

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	100%	100%	99%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3,082
青森	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5
東京	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
秋田	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	217	195	368	366	317	314	262	239	135	155	227	292	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

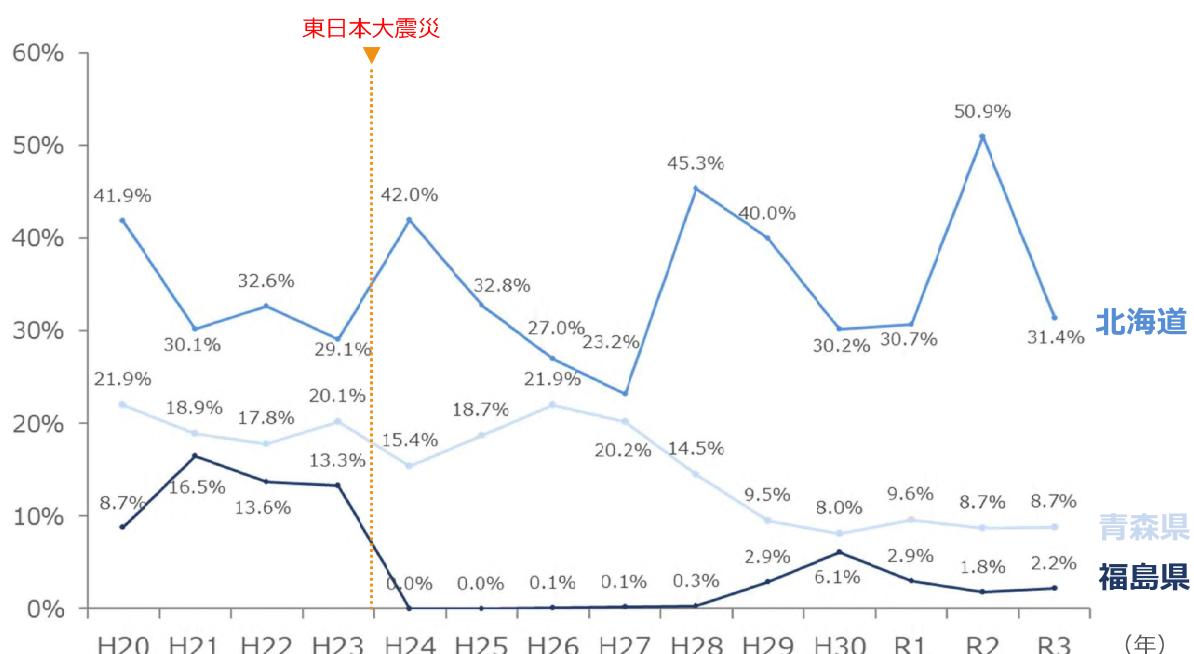
※総量・合計の単位はトン。

557

東京都中央卸売市場における福島県産カレイ類のシェアの推移

東京都中央卸売市場の2月の福島県産カレイ類は、震災前は10%以上のシェアを占めていたが、現在は2%程度である。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(2月)



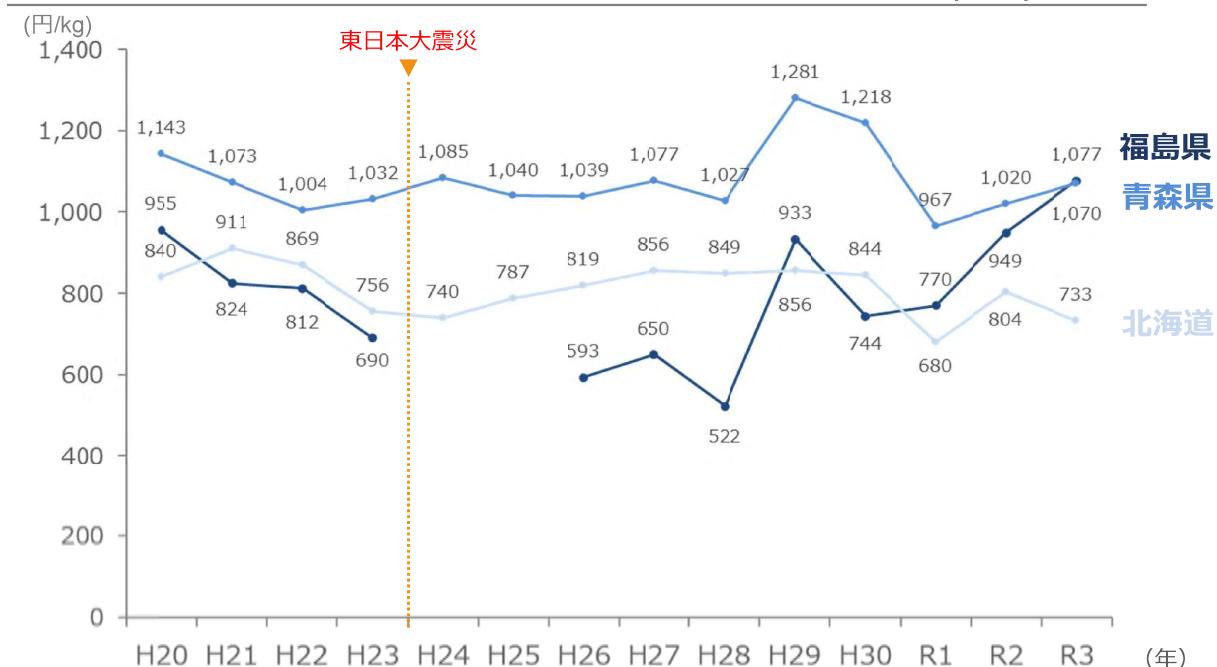
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

558

東京都中央卸売市場における福島県産カレイ類の単価の推移

東京都中央卸売市場の2月の福島県産カレイ類の平均単価は、震災前は青森県、北海道を下回っていたが、令和3年にこれらの道県を上回った。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(2月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※平均単価の数値がない箇所は、東京都中央卸売市場への出荷がなかった。

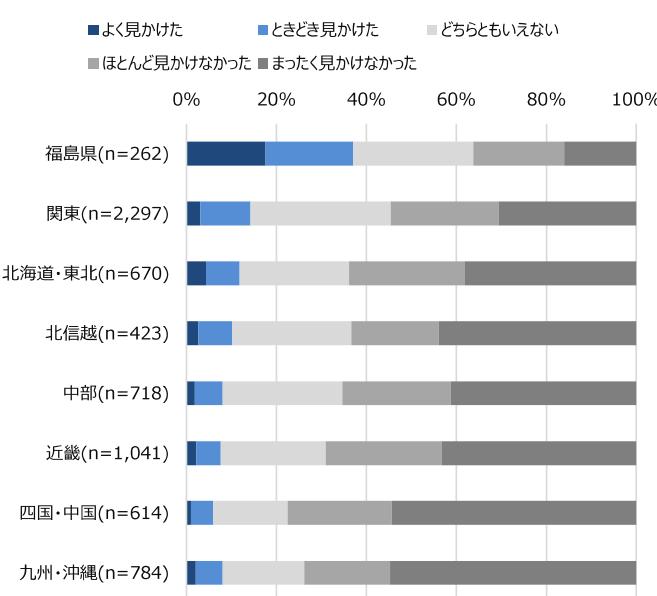
※カレイ類は、平成24年以降魚種ごとに順次試験操業の対象魚種となり出荷が再開されたが、市場での取り扱いはなかった。

559

福島県産カレイ類を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

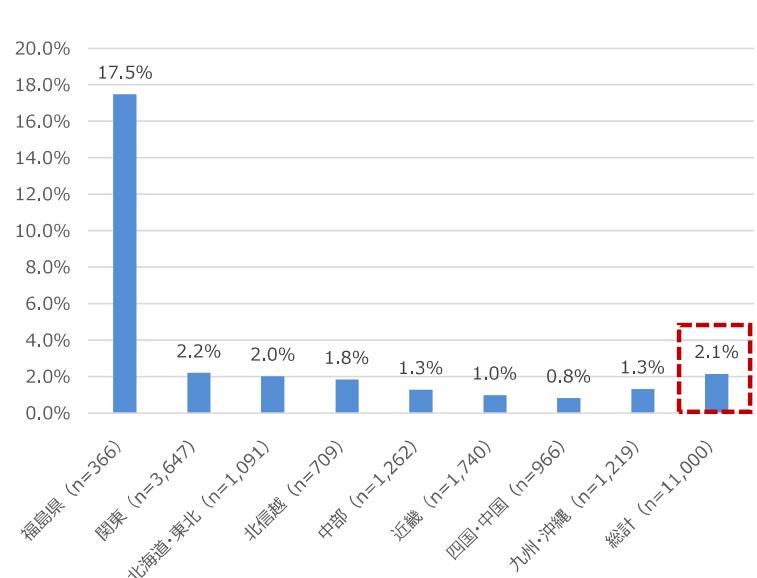
福島県産カレイ類をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産カレイ類を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では2.1%であった。

福島県産カレイ類を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産カレイ類を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産カレイ類の購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、产地を認識せずに買っていれば購買経験なしとなる。

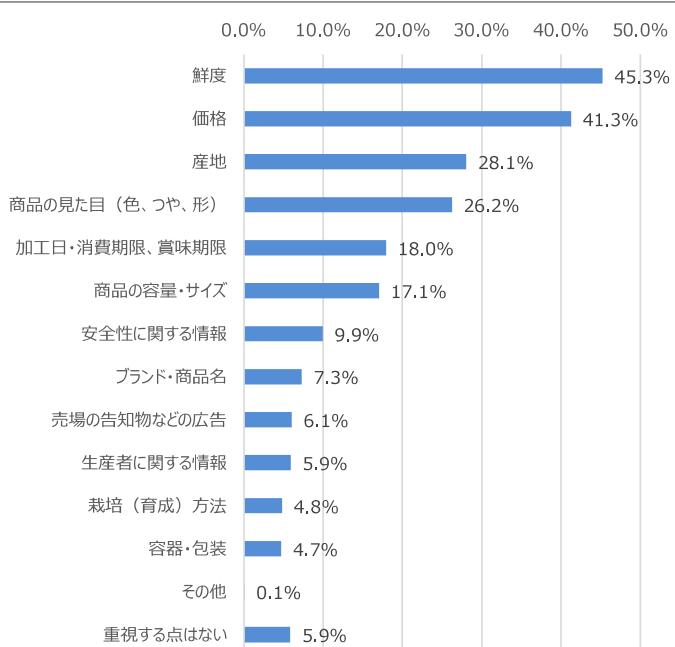
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

560

カレイ類購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

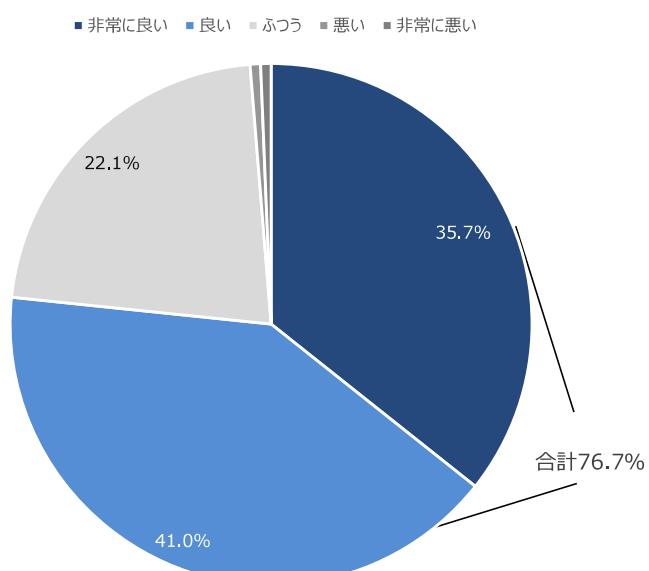
福島県産に限らず、カレイ類購買時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産カレイ類の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が76.7%であった。

カレイ類購買時の重視点（n=3,395、複数回答）



※カレイ類購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上カレイ類を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産カレイ類購買者の評価（n=242）



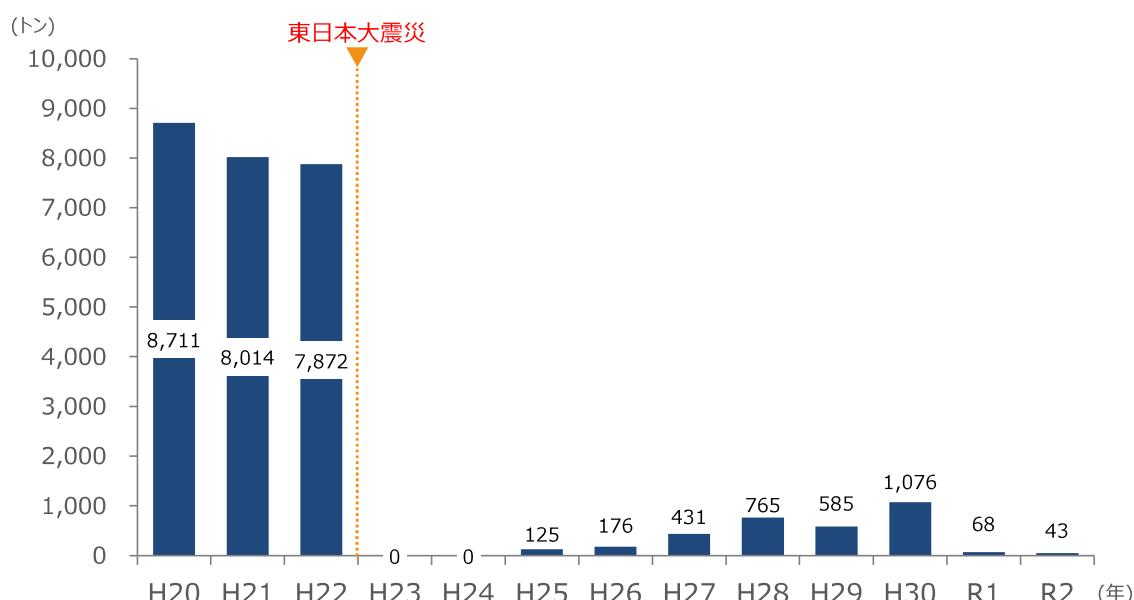
※福島県産カレイ類を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。
※選択肢には「非常に悪い」という選択肢があったが、本設問では「非常に悪い」を選択した回答者はいなかった。

561

福島県におけるイカナゴの漁獲量の推移

福島県におけるイカナゴの漁獲量は、震災後の平成23年に前年から大幅に減少し、以降緩やかな回復傾向で推移していたが、令和元年は再び大幅に減少し、令和2年も微減している。

福島県におけるイカナゴの漁獲量の推移



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

※「イカナゴ」のデータ。
※「コウナゴ」は「イカナゴ」の稚魚のこと。

562